

令和6年度
県民等参画促進事業

みんな
で
学ぶ!

しゅ り じょう

首里城

ふっ こう

復興

「おでかけ講座」

報告書



首里城復興「おでかけ」講座

実施目的

沖縄県では、首里城に象徴される琉球の歴史・文化を次世代へ継承するため、児童・生徒が復興を通して学ぶことのできる機会として、令和6年度出前講座（首里城復興「おでかけ講座」）を実施しました。

実施概要表

小中高はチラシを教育委員会より配布し募集をかけ、先着順かつ講師とのスケジュールが合う学校にて実施。また、商業施設等でも4回実施しました。

日程	時間	実施校・実施施設
2024/12/18（水）	11:15～13:05	沖縄県立 陽明高等高校（3年生 地理歴史クラス 104名）
2025/1/15（水）	13:40～15:30	宜野座村立 宜野座小学校（6年生 24名）
2025/1/21（火）	14:00～16:00	糸満市立 兼城中学校（1年生 3クラス 100名）
2025/2/19（水）	10:05～11:40	沖縄県立 小禄高等高校（2年生 芸術教養コース 美術専攻20名）
2025/2/21（金）	13:40～15:30	豊見城市立 豊崎中学校（2年生 4クラス 106名）
2025/2/25（火）	13:50～15:50	国頭村立 辺士名小学校（6年生 13名）

<講師>



昭和51年生まれ。早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了。琉球・沖縄史気鋭の研究者としてNHK「テンペスト」の時代考証や、新聞・テレビでも活躍。

琉球歴史研究家 内閣部地域活性化伝道師
上里 隆史 氏



昭和33年福井県出身。これまで半世紀近く、伝統建築の世界に携わってきた。平成の首里城復元・令和の復元にも携わっている。

株式会社 社寺建 代表取締役 会長
山本 信幸 氏

首里城復興「おでかけ」講座

実施の様子

「おでかけ講座」では、上里氏が首里城の歴史と平成・令和の復元について詳しく解説を行い、山本氏は宮大工の仕事や首里城復興に携わる思い、子ども達に学んでほしいことを伝えました。講師陣が、首里城に象徴される歴史・文化の継承や、首里城の復興状況をわかりやすく伝えることにより、生徒へ首里城への思い（誇りや愛着）と復興への理解を深めてもらう機会といたしました。

■ 沖縄県立 陽明高等学校



**陽明高等学校
(3年生 地理歴史クラス)**
・2024年12月18日（水）
・11時15分～13時05分
・かな削り参加数：104名
・スマホスタンド参加数：60名

■ 宜野座村立 宜野座小学校



宜野座小学校（6年生）
・2025年1月15日（水）
・13時40分～15時30分
・かな削り参加数：24名
・スマホスタンド参加数：24名

■ 糸満市立 兼城中学校



**兼城中学校
(1年生 3クラス)**
・2025年1月21日（火）
・14時～16時
・かな削り参加数：100名
・スマホスタンド参加数：100名

■ 沖縄県立 小禄高等学校



**小禄高等学校
(2年生 芸術教養コース)**
・2025年2月19日（水）
・10時05分～11時40分
・かな削り参加数：20名
・スマホスタンド参加数：20名

■ 豊見城市立 豊崎中学校



**豊崎中学校
(2年生 4クラス)**
・2025年2月21日（金）
・13時40分～15時30分
・かな削り参加数：106名
・スマホスタンド参加数：111名

■ 国頭村立 辺士名小学校



**辺士名小学校
(6年生)**
・2025年2月25日（火）
・13時50分～15時50分
・かな削り参加数：13名
・スマホスタンド参加数：14名

ものづくりワークショップ（かな削り体験・スマホスタンド色付け体験）

実施の様子

「おでかけ講座」の受講記念として、講座後は「宮大工体験」と「スマホスタンド色付け体験」の2つのワークショップを実施しました。「宮大工体験」では、首里城復興に携わる宮大工から直接指導を受けて「かな削り」を体験し、「スマホスタンド色付け体験」では、正殿に使用された木材の端材で作ったスマホスタンドに、ポスターカラーで色付けをしてもらいました。受講後に木材に触れる体験を通して、復興への学びをより深くし、2026年の正殿等完成への期待を高めてもらう機会としました。

■ 沖縄県立 陽明高等学校



**陽明高等学校
(3年生 地理歴史クラス)**
・2024年12月18日（水）
・11時15分～13時05分
・講座参加数：104名

■ 宜野座村立 宜野座小学校



宜野座小学校（6年生）
・2025年1月15日（水）
・13時40分～15時30分
・講座参加数：24名

■ 糸満市立 兼城中学校



**兼城中学校
(1年生 3クラス)**
・2025年1月21日（火）
・14時～16時
・講座参加数：100名

■ 沖縄県立 小禄高等学校



**小禄高等学校
(2年生 芸術教養コース)**
・2025年2月19日（水）
・10時05分～11時40分
・講座参加数：20名

■ 豊見城市立 豊崎中学校



**豊崎中学校
(2年生 4クラス)**
・2025年2月21日（金）
・13時40分～15時30分
・講座参加数：106名

■ 国頭村立 辺士名小学校



**辺士名小学校
(6年生)**
・2025年2月25日（火）
・13時50分～15時50分
・講座参加数：13名

●首里城復興おでかけ講座 教材：B5サイズ（全20ページ）

沖縄県
令和6年度県民等参画促進事業

【発行元】 沖縄県（土木建築部首里城復興課）
 【監修者】 上里 隆史
 【資料提供】 内閣府 沖縄総合事務局
 沖縄県
 一般財団法人 沖縄美ら島財団
 沖縄県公文書館
 沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館
 沖縄県立図書館
 沖縄県立博物館・美術館
 熊本県立図書館
 那覇市歴史博物館
 一般財団法人 日本カメラ財団 日本カメラ博物館
 琉球大学附属図書館
 和々（イラストレーター）

（順不同）

がっこう 学校	ねん 年	くみ 組
なまえ 名前		

※本教材に掲載の記事・写真・レイアウト・イラストなどの無断転写および複製を禁じます。

みんなで学ぶ！
首里城 復興
「おでかけ講座」

首里城復興「おでかけ講座」学習BOOK

（表紙・裏表紙）

1. 首里城ってどんなところ？

沖縄にある「首里城」って一体なんだろう？
 まずは一緒に、「歴史」という面から「首里城」の謎を解いてみよう！

首里城とは？

首里城は琉球王国の時代、都だった首里に
 あったお城（グスク）で、琉球国王が住んで
 いた王宮、琉球の政治と文化の中心でもあり
 ました。南西諸島にある「グスク」のなかでは
 もっとも大きく、正殿という建物を中心に南殿、
 北殿、森神門で囲まれた広場（御庭）が
 あります。
 正殿は沖縄県内でも最大の木造建物で、
 「百瀬添御殿」とも呼ばれ、琉球文化のシン
 ボルともなっています。

首里城 正殿

首里城の特徴1

3つの役割がある！

1 政治の場所（正殿など）
 2 王たちの住居の場所
 （正殿東側の御内原など）
 3 聖なる場所（京の内など）

首里城の特徴2

2つの区画がある！

お城を
大きく分けて
内郭と外郭という
2つの区画からなる

首里城の特徴3

中国と日本の様式！

中国の宮殿スタイルに
日本の唐風建築という
要素を加えた正殿

首里城正殿のなか

1階

下座理といひ、中央には、
御差床といひ玉座、会議や
儀式をおこなった。

2階

大座理といひ、豪華に装飾さ
れた御差床の部屋と廊下、火
の神をまつる御座などがある。

3階

高座理といひ、高座に装飾さ
れた御座、吹き抜けに
なっていて、音階は人が
使わない。

出典：（一財）沖縄美ら島財団

（P1-P2）

4

しりじょう
しりじょう

1. 首里城ってどんなところ？

琉球王国とは？

琉球王国とは、1429年から1879年まで南西諸島にわたる一連の島々を統治していた国です。首里を都とし、尚氏が国王として代々治めました。琉球では14世紀から中国（明）を中心とした国際体制に参加し、アジア地域で海外貿易をおこなってきました。17世紀からは日本の徳川幕府の体制にも組み込まれ、明治まで続きました。

こくおう おうひ
国王も王妃も
かっこいい〜！

日本の歴史	琉球王国の時代
約8000年前	縄文時代
前2世紀頃	漢時代の属国
12世紀頃	琉球王國の成立
1609年	薩摩藩による琉球の侵襲と琉球王國の没落
1879年	琉球王國の廃止と沖縄県設置
1945年	第二次世界大戦終結後の琉球返還交渉
1972年	琉球の最終的な地位決定

琉球王国の海外貿易

琉球は、中国（明）の国境に近い海にあり、東南アジアとの貿易の要衝となっていました。さらに他国へと転売、さらに他国の特産品を買って別の国に売るという貿易の中心地であり、15世紀、アジア有数の交易の中心地となりました。

首里城のはじまり

14世紀初め、現在の「京の内」という場所から首里城が始まったと考えられています。15世紀初めに尚巴志が王城として内部を造営し、さらに15世紀後半～16世紀前半にかけて北朝が、1546年に南東側が増築され、外郭が完成しました。

1477~1526 尚氏王代
1546年 増築

歴代の正殿の姿

- 14世紀：[Image of 14th-century main hall]
- 15世紀：[Image of 15th-century main hall]
- 17世紀：[Image of 17th-century main hall]
- 18世紀：[Image of 18th-century main hall]
- 1933年：[Image of reconstructed main hall]

3
4

(P3-P4)

1. 首里城ってどんなところ？

にはん
日本の
おも、できごと
主な出来事

1879年
明治時代
琉球が
沖縄県に

おきなわけん
沖縄県
しりょう
首里城

沖縄県になってからの首里城

しりょう
首里城正殿、取り壊しの危機！

1923年、朽ちていく正殿の取り壊しが議会で決まっています。この危機に対して、琉球文化を研究していた鎌倉芳太郎が立ち上がり、関係者の努力により取り壊しは中止されました。

【沖縄神社拝殿建築写真】 沖縄県立図書館蔵 国指定文化財
https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.jp

ぐんたい
軍隊
おきなわけん
軍隊がやってきました

1879年の沖縄県設置により、熊本鎮台の沖縄分遣隊が派遣され、1896年まで駐屯地として使われました。この時、正殿の犬柱も折られました。

しりょう
学校として利用される

軍隊が去った後、城内は学校の敷地となり、しりょうの学校として利用されました。首里区立立憲高等小学校や女子工芸学校、しりょうの高等小学校が置かれ、正殿前のお庭は校庭として利用されました。

しりょう
首里城正殿、取り壊しの危機！

1923年、朽ちていく正殿の取り壊しが議会で決まっています。この危機に対して、琉球文化を研究していた鎌倉芳太郎が立ち上がり、関係者の努力により取り壊しは中止されました。

【沖縄神社拝殿建築写真】 沖縄県立図書館蔵 国指定文化財
https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.jp

1889年
大日本帝国
憲法発布

1894年
日清戦争

しりょう
首里城でバスケットがプレイされていた！？

バスケットボールがさかんな沖縄ですが、上の写真の左側を見てみると、なんとバスケットリングがあります。1891年にはじまったバスケット、1928年には沖縄に伝えられ、学校の授業にも取り入れられました。

しりょう
首里城正殿、取り壊しの危機！

1923年、朽ちていく正殿の取り壊しが議会で決まっています。この危機に対して、琉球文化を研究していた鎌倉芳太郎が立ち上がり、関係者の努力により取り壊しは中止されました。

【沖縄神社拝殿建築写真】 沖縄県立図書館蔵 国指定文化財
https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.jp

1902年
日英同盟を結ぶ

1904年
日露戦争

しりょう
老朽化していく首里城

沖縄県設置後、メンテナンスがされなくなると、首里城とその周辺は老朽化が進み、取り壊されています。城外の中山門は1908年に売却され、木材は風呂用の燃料になりました。

しりょう
首里城正殿、取り壊しの危機！

1923年、朽ちていく正殿の取り壊しが議会で決まっています。この危機に対して、琉球文化を研究していた鎌倉芳太郎が立ち上がり、関係者の努力により取り壊しは中止されました。

【沖縄神社拝殿建築写真】 沖縄県立図書館蔵 国指定文化財
https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.jp

1912年
大正時代

1914年
第一次世界大戦

しりょう
首里城正殿、取り壊しの危機！

1923年、朽ちていく正殿の取り壊しが議会で決まっています。この危機に対して、琉球文化を研究していた鎌倉芳太郎が立ち上がり、関係者の努力により取り壊しは中止されました。

【沖縄神社拝殿建築写真】 沖縄県立図書館蔵 国指定文化財
https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.jp

しりょう
首里城正殿、取り壊しの危機！

1923年、朽ちていく正殿の取り壊しが議会で決まっています。この危機に対して、琉球文化を研究していた鎌倉芳太郎が立ち上がり、関係者の努力により取り壊しは中止されました。

【沖縄神社拝殿建築写真】 沖縄県立図書館蔵 国指定文化財
https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.jp

(P5-P6)

●首里城復興おでかけ講座 教材：B5サイズ（全20ページ）

1. 首里城ってどんなところ？

1945年
第二次世界大戦（沖縄戦）

1946年
日本国憲法公布

1951年
サンフランシスコ条約

1964年
東京オリンピック

1972年
沖縄県が日本復帰

1973年
石油危機

1989年～
平成時代

1990年
バブル経済崩壊

1995年
阪神・淡路大震災

2001年
アメリカ同時多発テロ事件

2003年
イラク戦争

2011年
東日本大震災

2019年～
令和時代

2019年
新しい天皇に元号が

沖縄戦と戦後（平成）の復元

どこにあったかもわからないメー

戦争で破壊される

1945年、沖縄戦が始まると首里城はアメリカ軍の集中砲火を浴びて壊滅しました。周辺の城下町も焼け、琉球王国時代から伝わる貴重な文化財も失われました。

地下にあった日本軍の司令部壕

首里城の地下には日本軍（第32軍）司令部の壕が築かれました。全長1キロ、深さ10～30メートルの大規模なもので、現在は老朽化で立ち入り禁止となっています。

首里城に琉球大学が建てられる

戦後、米軍統治下で首里城跡には琉球大学が置かれました。守礼門や内苑寺給門、井財天堂、玉陵など周辺の文化財も次第に復元され、観光地としてもにぎわうようになります。1982年、大学は西原に移転しました。

復元を求める運動と平成の復元

首里城復元は県民の悲願となり、沖縄県をあげて復元を求める運動が起きます。1984年、ついに復元が決まり、1992年に首里城公園がオープン。正殿が再び姿を現しました。

ユネスコの世界遺産に登録！

2000年、首里城と城外の玉陵、園比屋武御前が「琉球王国のグスク及び関連遺産群」としてユネスコの世界文化遺産に登録されました。2019年には復元工事一通り完了しました。

世界遺産
琉球王国のグスク及び関連遺産群
首里城跡
Site of Shuri Castle

(P7-P8)

2. 令和の首里城復興

令和の復興は、火災の被害を受けた首里城。現在、首里城はどのように復興作業が行われているのかな？

2019年の首里城火災

2019年10月31日夜、首里城正殿で火災が発生し、正殿や北殿、南殿をはじめとした主要な建物、所蔵されていた文化財が焼失しました。この出来事は沖縄県民に大きな衝撃を与え、世界中にもそのニュースが伝えられました。

復興への動きとたくさんの寄付

多くの人が悲しみにくれたが、だちに復興の計画が立ち上がり、国内外からの寄付金は60億円（2024年10月末時点）にのびました。正殿は2026年の完成をめざして工事が進んでいます。

首里城復興基金

首里城火災からの復興のために使います。

首里城未来基金

首里城を未来へ継承するために使います。P16で解説！

2度目の木曳式

2022年11月、正殿の竣工式に合わせて材木を国頭村から首里まで運ぶ木曳式が行われました。平成の復元から続く2回目となる今回、国頭から切り出したオキナワウラジロガシが運ばれ、木曳パレードと木道行列が行われ、音楽玉能などが奉納されました。

令和の復元とその特徴

- 首里城復元**
2026年の完成をめざす！
- 段階的公開**
復興の様子を見えるように公開！
- 地域復興・観光復興への貢献**
地域と一緒に盛り上げ、未来に技術を受け継ぐ

バージョンアップ!!!

首里城の復元は、きんとした歴史の資料にもとづいて再現する方針となっています。令和の復元では、新しく見つかった首里城の記録や、新しくわかった調査・研究の成果を取り入れて、昔の姿を受け継ぎながらバージョンアップした首里城になります。

(P9-P10)

●首里城復興おでかけ講座 教材：B5サイズ（全20ページ）

2. 令和の首里城復興

復興に関わる人たちの取り組みと思い

首里城の復元には、専門技術を持つ多くの職人さんたちが携わっています。沖縄県産の材料を結集し、琉球王国時代から受け継がれる伝統技術で築き上げます。2026年の正殿完成を目指して、復元に情熱を注ぐ職人さんたちの思いを聞きました。

どういった業務をしていますか？

首里城の参りづくりと、床材となる土づくりも行いました。令和の復元では、シャモット（火災で破壊した瓦を細かく砕いたもの）を入れて、土に強度を付けます。配合に苦労しましたが、平成の首里城の土の匂いを残すことができました。



島袋 拓真さん(有限会社 島袋瓦工場)

どういった業務をしていますか？

正殿に掛けられる瓦を、中山世士の遺業をうけついで、漆は作業工程が多く難しいですが、手際を上げて仕上げます。



崎間 清野さん(株式会社 漆芸工房)

たくさんの職人さんが復興に関わっているよ！



首里城未来基金

伝統技術を未来へ繋いでいくための人材育成

首里城未来基金とは…？

復元した後も、保存・修復を行い、未来に繋げるためには、伝統技術を持っている人が必要です。令和4年4月以降、「首里城未来基金」を創設し、伝統的な建築技術の継承・人材育成、首里城周辺の歴史まちづくり推進等に活用しています。

木工

若手技術者などを対象に研修を行っています。建造物木工の講義・実習や正殿の復興現場の見学を通して伝統技術を伝え、未来の首里城のために人材育成・伝統技術の継承を行います。



彫刻

若手技術者などを対象に研修を行っています。正殿復元にも携わる県立芸術大学の教員などを講師に招き、実習・講義、見学などを行い、木彫彫にかかわる伝統技術を伝えます。





せうきだんかい 制作段階でくまななっく いるんだって！

(P15-P16)

2. 令和の首里城復興

首里城とともに進む琉球文化の復興

首里城の復興とともに、周辺にあった歴史的な建物や琉球王国時代の文化財、伝統芸能なども次々とよみがえろうとしています。琉球文化も盛り上げることで、首里城の姿がよりあざやかに見えてくるはずです。



玉置邸(複製品) 沖縄県立博物館・資料館所蔵



山崎(一画) 沖縄県立博物館

まとめ

2026年に向けて、首里城の復興は進んでいます。国内外からも大きな注目を浴び、沖縄の人たちも力を注いでいます。そして首里城の復興に、首里城のまわりには文化財や歴史的な風景をとりもどし、歴史のなかで生み出された音楽、芸能や美術工芸なども一緒に沖縄で盛り上げていくことが、本当の復興につながっていくかもしれません。

みなさんも先人たちが受け継いだ素晴らしい文化を未来に伝えていきましょう！



山崎(一画) 沖縄県立博物館

(P17-P18)

■教材ダウンロード用QRコード



※教材はこちらからダウンロード可能です。

■端材で制作した スマホスタンド



■「おでかけ講座」等で使用するPR動画



令和の首里城復興大作戦（小学生向け）

<https://youtu.be/eq8wjIjkJbw>



令和の首里城復興大作戦(中高生向け)

https://youtu.be/UXLbDCQ_Sr0



■「おでかけ講座」募集チラシ

教育機関・関係者のみなさまへご案内

首里城復興「おでかけ講座」希望クラス募集

参加無料

学校まで伺います！先生のクラスで開催しませんか？

首里城火災を受け、沖縄県では首里城復興基本計画を策定し、首里城復元はもとより、首里城に参画される戦後の歴史・文化及び首里城の復興について実地体験を通して学び、復元に関心をもちたい。また、復元に関わる人たちの取り組みを知りたい。復元・復興の歴史を学び、復元に関わる人たちの取り組みを知りたい。復元・復興の歴史を学び、復元に関わる人たちの取り組みを知りたい。

1日2講座行います

プログラム01 首里城復興「おでかけ講座」

琉球歴史文化研究家の上里氏が、首里城の歴史・平成・令和の復元の違い・寄付金の使われ方、復元に立ち上げる人々の話を詳しく語る出前講座と、宮大工かなな削り体験・木材加工の工程で発生する端材を使用したワークショップを実施。受講記念となるスマホスタンドを制作します。

プログラム02 ワークショップ

1. 宮大工かなな削り体験

首里城復興の学びと復興工事への関心を高めるため、宮大工かなな削り体験、復元に関わる人たちの取り組みを知りたい。復元・復興の歴史を学び、復元に関わる人たちの取り組みを知りたい。

2. 首里城端材でスマホスタンド制作

首里城の復元に使用される木材の端材を使って、オリジナルのスマホスタンドを制作。色付けも自由に行えます。

申し込みは先着順です！

実施回数 先着で4クラス(4回)限定

申し込み、問合せ先 株式会社サン・エージェンシー (担当:村上/賀那城)

FAX:098-862-3548

TEL:098-862-3580 mail:demaek@sun-agc.co.jp

電話受付時間10:00~17:00(土・日・祝日を除く)

申し込み必要事項 FAX・メール・電話で受付けます。

首里城復興「おでかけ講座」希望クラス募集 申し込み必要事項 先着で4クラス(4回)限定

学校名・クラス	学校住所	希望日 (第1候補)	希望日 (第2候補)	希望日 (第3候補)	希望時間 (第1候補)	希望時間 (第2候補)	希望時間 (第3候補)	ご担当者様氏名	ご担当者様電話番号	ご担当者様メールアドレス
学校住所	〒									
希望日 (第3候補まで)										
希望時間 (第3候補まで)										
ご担当者様氏名	(フリガナ)									
ご担当者様電話番号										
ご担当者様メールアドレス										

沖縄県 沖縄県土木建築部首里城復興課

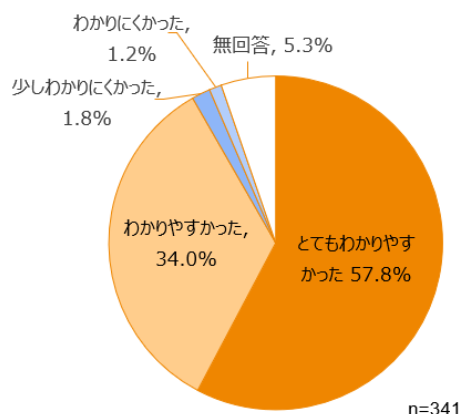
(表面)

(裏面)

「おでかけ講座」参加校（先生・生徒）によるアンケート

生徒へのアンケート

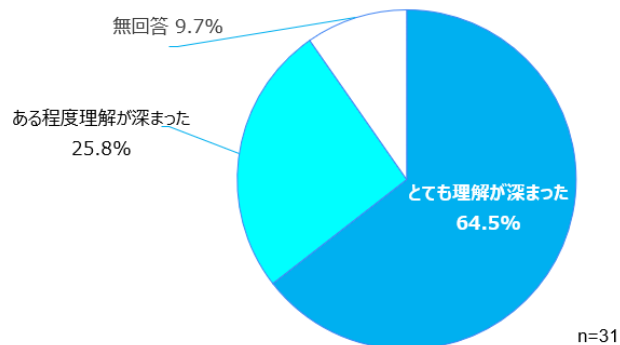
Q「おでかけ講座」の内容はどうでしたか？



「とてもわかりやすかった」（57.8%）
「わかりやすかった」（34.0%）を合わせて
91.8%が分かりやすかったと回答した。

先生へのアンケート

Q「おでかけ講座」により首里城復興について生徒の理解が深まったと思いますか？



「とても理解が深まった」（64.5%）「ある程度理解が深まった」（25.8%）を合わせて90.3%が理解が深まったとみている。

おでかけ講座【生徒用アンケート】意見・感想の一部抜粋

○令和と平成では復興することがちがうことを知れたし、一回もいけてないので今の首里城、完成した首里城を見ようと思いました。

○首里城が学校として使われていたことを知れた。もっと知りたいと思った。

○14世紀～今までの首里城の見た目が面白かった。

○首里城の特徴を初めて知った。2026年に復元した首里城に行くのが楽しみ。寄付金が60億円も集まっていることにビックリした！

○首里城の復興は、ただなくなったから元に戻すだけだと最初は思っていたが、今日の話を聞いて、県民や他の色々な仕事に人たちの思いやこだわりが強く込められているとわかり、その過程を今間近で見れていることがとても嬉しく思え、見れなくなる前にもっと今日の話を踏まえて見学に行きたいと思った。

○小学生の時、修学旅行ではじめての首里城に行く予定だったが、前日に燃えてしまった事を思い出した。昔の首里城には行ったことがないが、次の首里城は絶対に見に行く！色々な話をきいて、友達と見に行った時におしえてあげたいと思った。

おでかけ講座【先生用アンケート】意見・感想の一部抜粋

○貴重な経験になると考えているので、次年度このような講座があった際はより積極的に活用したい。また大人向け（教師・保護者）の講座等も開催したらどうかと思う。

○これまでの首里城の歴史や、職人さんたちの思いを知る良い機会となった。沖縄の文化を誇りに思う。

○生徒が自分の郷土、アイデンティティーについて再発見できる良い機会となりました。

○新聞やニュース等の報道で聞くより、とても分かりやすい講座でした。興味関心の高い生徒達がとても喜んでいました。

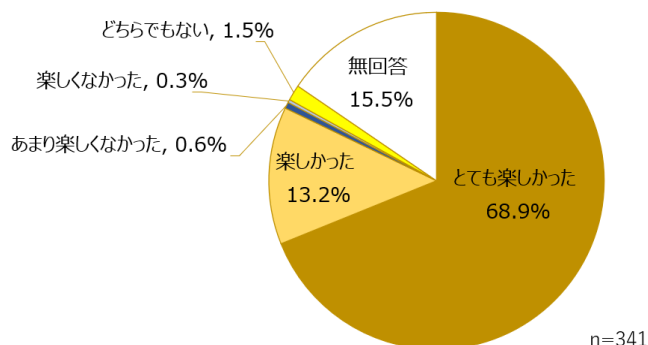
○丁寧な説明有難うございました。先生方にとっても新しい発見や感動がいっぱいだったと思います。

○このような機会をもっと多く企画してほしい。

ものづくりワークショップ（かな削り体験・首里城スマホスタンド色付け体験） 参加校（先生・生徒）によるアンケート

生徒へのアンケート

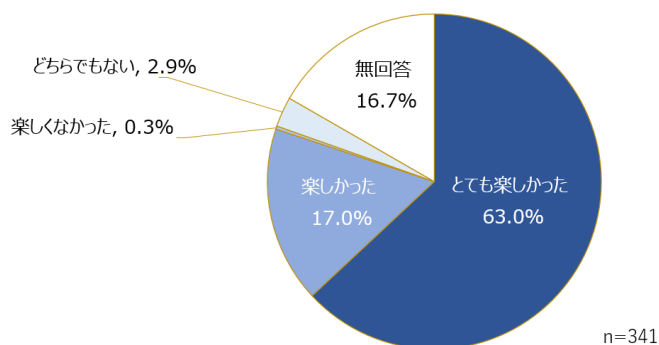
Q宮大工かな削り体験はどうでしたか？



「とても楽しかった」（68.9%）、「楽しかった」（13.2%）を合わせて82.1%が楽しかったとした。無回答を除いた数値では、楽しかったは97.2%となる。

生徒へのアンケート

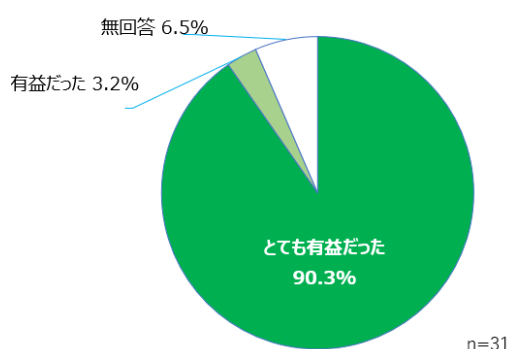
Qスマホスタンド制作はどうでしたか？



「とても楽しかった」（63.0%）、「楽しかった」（17.0%）を合わせて80.0%となる。無回答を除いた数値では楽しかったは96.1%となる。

先生へのアンケート

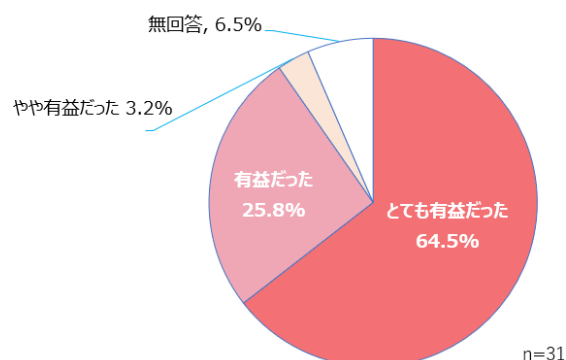
Q宮大工かな削り体験は児童・生徒の首里城復興への興味・関心をひく上で有益でしたか？



「とても有益だった」が90.3%で「有益だった」（3.2%）を合わせると、有益だったとするのは93.5%となり、極めて評価が高い。

先生へのアンケート

Qスマホスタンド制作は児童・生徒の首里城復興への興味・関心をひく上で有益でしたか？



「とても有益だった」が64.5%で、「有益だった」（25.8%）、「やや有益だった」（3.2%）を合わせると、有益だったとするのは93.5%となり、同じく評価が高い。

ワークショップ【生徒用アンケート】意見・感想の一部抜粋

○宮大工体験はとても楽しく、スマホスタンドづくりは夢中になれた。首里城のことも勉強になったのでとても良い体験になったと思います。

○はじめてかな削りをしたり、日本の建築技術を学ぶことができた。首里城についても詳しく知ることができたので、友達や家族にも教えてあげたい。

○かな削り体験を通して、首里城に使われている建築構造の部分について知ることができ、スマホスタンド制作では、首里城に使われている材料が使われていて色塗りをするのが楽しかった。

○このような夢や将来への希望が出るようなことはどんどんやりたい。宮大工のすごさと紡がれてきた技術の美しさなどが感じられて感動した。

ワークショップ【先生用アンケート】意見・感想の一部抜粋

○今回のように触れる、作る体験を通じて生徒の興味・関心は広がっていくと思います！本物（職人さん・木材・道具）を感じられる素晴らしい取り組みだと感じました。ありがとうございました。

○実際にかな削り体験ができたことは、子ども達の興味関心も高まりとても良かったと思う。何より職人さんの技術を目の前で見ることができたことに感動している。学校現場として今後も首里城復興への協力ができればと考えている。多忙の中、このような貴重な機会をつくっていただき心より感謝申し上げたい。

○宮大工を知らない子が多い中、本日の体験は有意義でした。キャリア教育へつながりました。